

豊かな自然と昔ながらの温泉街の雰囲気味わえる四万温泉(中之条町)。その魅力を引き立てているのが、温泉街で唯一、スマートフォンと手打ち式パチンコが楽しめる「柳屋遊技場」だ。昭和の香り漂う店内には計16台が並び、温泉客が盤上とにらめっこして、玉をはじき出している。

店は、おかみの京田二子さん(77)と、同町四万IIが一人で切り盛

北毛発

温泉百景

四万 昭和残す遊技場

客との会話 生きがい



りする。客が来店するのと、指示棒代わりに孫の手を使い、一人一人の台の仕組みを解説し

てくれる。「強すぎず、弱すぎずの力で玉をはじくのがこつ。はい、頑張って」

お茶と茶菓子を振る舞い、客とおしゃべりを楽しむ。「どこから来たの「宿泊先は」

「いつまでいるの」。

温泉街の楽しみ方や観光案内などの相談にも

快く応じ、「ついつい話しすぎちゃうの」と

苦笑いを浮かべる。

スマートフォンが懐かしさに加え、京田さんの気さくな人柄が評

笑顔でお客と会話する京田さん(右)

判を呼び、いつからか四万温泉の名所になった。これまでに数多くのテレビ番組や旅行誌でも紹介され、店内には著名人のサイン色紙と写真がずらりと飾られている。

「普通に生きていれば出会ったことがない人ばかり。この遊技場には本当に感謝している」と京田さん。ここ数年は20〜30代の来店が増え、世代間交流を人知れず楽しんでいるという。「お客との会話が何よりの生きがい。元気なうちは店を続けていきたい」と優しくほほ笑んだ。